



漫画くっちゃん昔ばなし  
第8章  
「くっちゃんの観光」

©2022一般社団法人俱知安観光協会

漫画くっちゃん昔ばなし

第8章

くっちゃんの観光

漫画:石川寿彦



発行  
一般社団法人  
俱知安観光協会



ニセコアソブアソブを中心とした地域の観光のはじまりはやはり温泉だね!



1885(明治18)年岩内に住む渡島という人がアソブアソブ南麓に間欠泉を発見



かたわらに笹掛けの小屋を建てて浴場にした

これが現在の大湯沼湯本温泉

温泉が盛った後も、老いたま七人が春から秋まで湯宿を開いたので「笹掛けの湯」と言われ、いつしか「馬場温泉」と言われるようになった



経営が変わって湯本温泉になったのは1926(大正15)年8月



1894(明治27)年には伊知守への最初の入植者のひとり山田邦吉がニセコアソブアソブの東麓に温泉を発見。1897(明治30)年山田温泉として開業



これが今日「グランセブ」がある「伊知守町山田のはじまり



あまりに木がたくさん育っているのに官材だったため伐採は許さず、邦吉の弟知雄が山麓からの道を拓き、材木を運んでの開業した



これが今のセブの始まりなんだ



その他に尻別川沿いに成田温泉(現華研温泉)

成田温泉(孝郎温泉)

1905(明治38)年に若蘭越町に青山温泉が開かれた

1898(明治31)年にも蘭越町に宮川温泉(現鯉川)

宮川温泉(現鯉川温泉)

青山温泉

ニセコは、はじめて北海道有数の山岳温泉地になった



この頃は岩内や寿都などの日本海側のニシン漁の網師やヤブたちと...

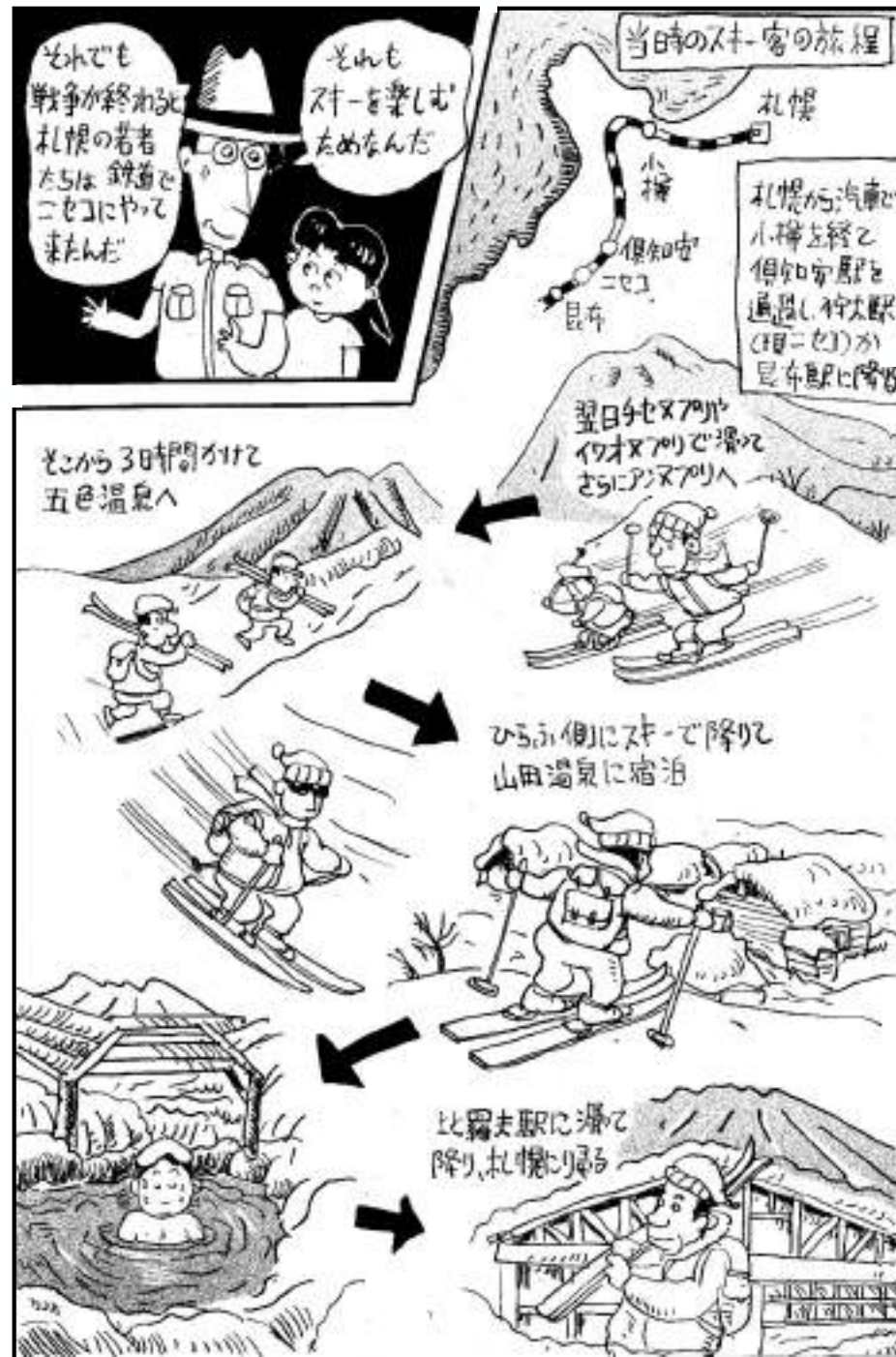


イワオアソブにあつた硫黄鉛山の鉱夫たちと漁師といふ近隣の人々が夏場に湯山をいやすための温泉だった

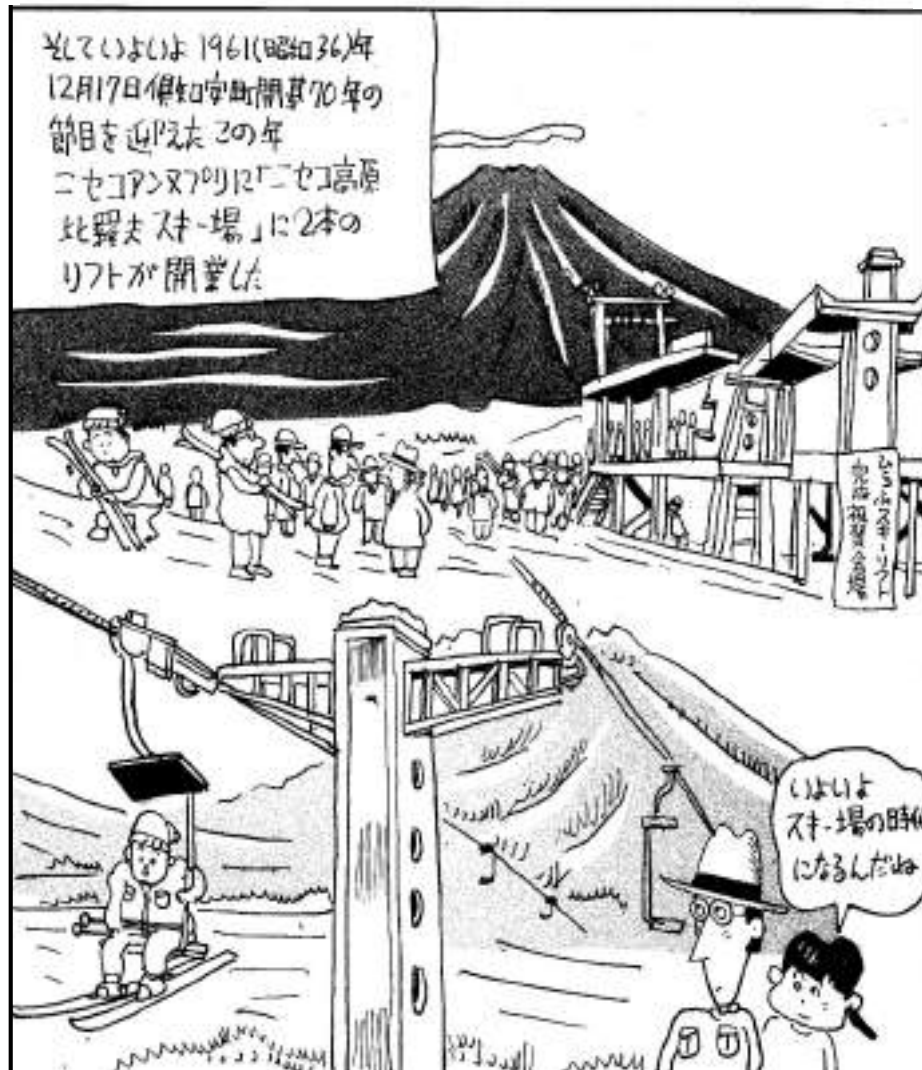








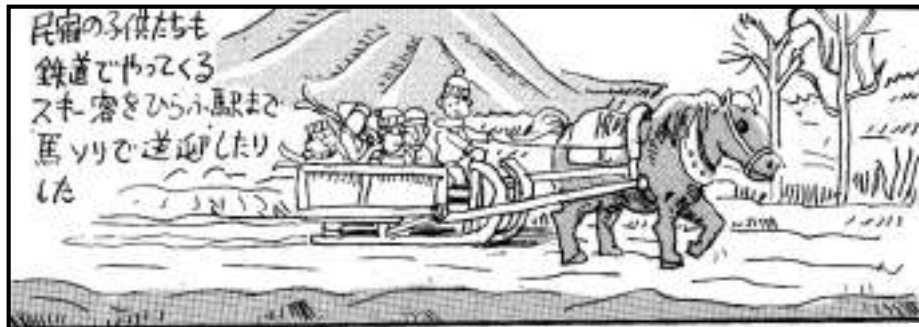




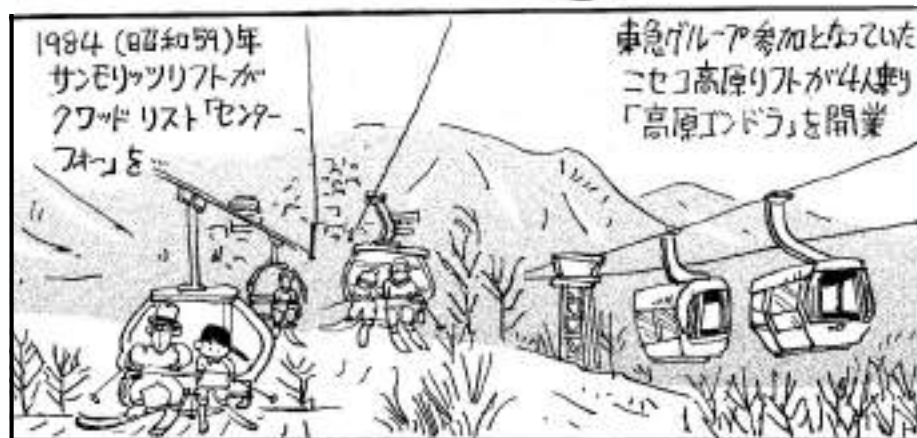
















漫画くっちゃん昔ばなし  
第8章「くっちゃんの観光」  
2022.3.31

発行：一般社団法人 倶知安観光協会  
監修：倶知安風土館  
漫画：石川寿彦  
編集：有限会社エーピーアイ  
©2022一般社団法人 倶知安観光協会